

「with コロナの体制について保育園等保護者が求めること」アンケート

<自由記述集>

設問ごとに回答の自由記述回答のみを集めました。

5 園の対応について（前問で回答した園の対応について、どのような感想を持ちましたか？）

前問で「全面休園となった」と回答した人

- ・休園日が1日だったのですが、もっと長く休園してほしいです
- ・やむを得ないと思った。休園は一日のみだったのが、本当にそれで大丈夫なのか少し不安になった。
- ・当初は休園予定がなかったが、ほとんどの子供が登園しなかったため、3日後から休園が決まった。その間園長先生や区役所の担当と話をしたが、コロナ感染についてどの様に対応するのか方針がないことが分かった。隣接の区では迅速に対応できていた事例があったため、もう少し国で感染専門家と一緒に一貫したガイドラインの作成が必要だと感じる。
- ・保健所の指示に従い尽力していると思うが、そもそも指示される休園期間や濃厚接触者のPCR検査実施時期が適切なのか疑問が残る。
- ・他の自治体では陽性者が出て休園にならなかった場合や濃厚接触者なし、の場合もあったと聞いていたので、（その時の保育の様子によっても判断は異なると思うが）自治体や保健所によって対応は異なるのだな、と思った。
- ・仕方ないことだと思うが、認可園の中でも対応のバラつきがあると聞いて複雑な気持ちになった。致し方ないと感じました。
- ・安全優先だからしょうがないと思った。保健所との対応がとても大変そうだった。仕方ないかな、と思った。うちは夫婦で休暇をやりくりして乗り切ったけど、全ての家庭がそれをできるわけでは無いだろうな、とも思った。
- ・至極当然
- ・仕方がないよなあ、と。
- ・このご時世しょうがない。
- ・消毒作業などで対応するしかないと思うし、仕方ないと思う。
- ・致し方ない、という感想でした
- ・今のルールでは仕方ないことだと思った。保育園では充分に対策を取っていたので、保育園側に落ち度はないと思った。
- ・仕方がない
- ・近隣の小学校と同じ方法を取るスタンスの保育園なので仕方ないと思った。
- ・困るが現状では致し方無い
- ・3日間の休園で仕方がないとは思ったが、日数の根拠がわからなかった。
- ・仕方がないと思ったが、実際に休園になるととても大変だった。また、PCR検査を非濃厚接触者として受けたが、結果（陰性）が出た後も、休園となり負担が大きくなってしまった。

・しょうがないとはいえ、有給休暇を使い果たしてしまったので区に何か支援をしてほしかったと思いました。

・濃厚接触者が陰性であったため、比較的短期間で再開となった。保護者としても、仕事があるとはいえ、子どもを預けることでの感染リスクを考えれば休園はやむを得ないと思った。ただ、長期間となると、同じように思えたかはわからない。

・誠実な対応と感じた

・休園にしてくれて安心してできた。荷物を全て持ち帰らせ業者を入れての消毒も実施された。

・妥当

・当然の対応

・素早い情報共有があったが、先が見えない不安が大きかった。

・情報開示から登園開始まで素早い対応でした。

・夜遅くまで保健所の連絡を待った上で休園決め&連絡をくださったたり、途中経過(まだ保健所から連絡が来ないからもう少しお待ちくださいなど)も連絡をくださったたりと、臨機応変で柔軟な対応に感謝しかない。

とても誠実な対応をしていただいた。

・2-5歳が同じ部屋で活動してるので万が一のときはあっという間に感染すると思います。休園になると特別・休暇も取得できるので心から安心しました。

・素直にありがたかったです。危機管理意識がきちんもしていると感じました。その後、検査結果をもって、段階的に部分開園して行った点も、ありがたかったです。”

・丁寧な対応だった。

・正しい対応だと思った

・仕事の調整もあり休みは困るが、運営として正しい判断。随時進捗報告があり信頼できる対応。

・深夜、急に2週間の閉園と言われ戸惑った。先生方も深夜の問い合わせにも関わらず応じてくれ、不信感はなかった。しかし先生方の中でも情報が錯綜しており人によって違う回答が来ることも。

・妥当な判断だと思った。しかし、園によって休園の長さ(1日だけのところもあれば、5日間休園しているところもある)があり、その説明が明確でない。

・休園すべきで賛成。しかし職員の行動履歴を追っているのか?再発防止策をしっかりと提示してほしかった。

・休園決定後から園再開までの詳しい説明がなかった

・○職員の感染(2020年7月)→2週間全面休園。初期だったこともあり、やむを得ない判断だったと思う。○園児の感染(2021年8月)→濃厚接触者の調査が終わるまで休園。調査終了後は濃厚接触者を除いて開園。対応としてはスタンダードなものと思う。”

・表向きには全面休園だったが、園にお願いすれば保育は提供されていたらしい。発生クラスも教えてもらえないので、何を元に判断してよいか?どうしてもの場合保育を提供するという曖昧な判断基準では、選択ができなかったのでモヤモヤしました。

前問で「感染が判明したクラスのみ保育が休止した」と回答した人

・クラスを跨ぐ保育が日常的に行われていることを考えると、感染者が発生したクラスだけの休園に、どこまで感染拡大抑制の効果があるか疑問。

・休園は困るので助かりました。娘は調査の結果、濃厚接触者ではなく登園していました。

前問で「休園、保育の休止はなかった」と回答した人

- ・感染者のプライバシー配慮から何も教えてくれなかった。とても立腹し、情けなくなった。
- ・休園しないという理由がわからなかった。
- ・個人情報の観点から、詳細は共有されず、どこのクラスなのか、今休んでいる子は陽性なのか濃厚接触者なのか無関係なのか、などが聞くに聞けずモヤモヤした。
- ・感染防止で自粛を強く求める一方で、実際に出ても特に何も無いんだなど。
- ・すごく疑問に感じました。マスクしてるから、距離置いてるから濃厚接触者のリストから外れてしまうのかと思うとなんだかなあって思いました。
- ・子ども達や先生に感染が広がらないか？自分の子どもが感染しないか？という不安と、「休園する」と言われないことで、子どもをリスクに晒して会社に行ってしまうことへの罪悪感を感じました。また、「どうせなら休園と言われたほうが腹を括れるのに…」とも思ってしまいました。
- ・自分の子を通わせて本当に問題ないのか？せめて、以上児か未満児かだけでも教えてもらえたら、我が子と接触する可能性が高いか判断できるのに…と思った。
- ・安心できない。隠蔽体質と感じる。コロナ対策として日々実費検査、行動自粛してる身からしたら、園の身勝手に感じる。
- ・預けられたのはよかった。でもどのクラスから出たかとか、誰がかかったのかは伏せられており、不安になった。プライバシーに配慮してしているのは感じたが、詳しいことが分からないので、誰がかかったか、どのクラスか、本当は知りたかった。
- ・休園にならなくて良かった
- ・適切だと感じた
- ・感染が判明する前に欠席していた園児が感染したとのことだったので、特に問題には感じなかった。
- ・該当児童が数日まえから欠席していたことにより濃厚接触者はいないためであり、園が妥当な判断をしてくれてありがたかった。
- ・甘いとは思ったが、世間は感染拡大が深刻で、誰がどこで感染してもおかしくない状況であり、その都度休園していたら、登園できる日などなくなり、こんな状況でもテレワークができる業種ではなく、仕事への影響が甚大であるため、ありがたいし、都合がよいというのが本音。こういうことをしているから感染が広がる、という考えもあるかもしれないが、無症状の感染者も多いだろうし、国民が家から出ない、ということなど不可能なのだから、感染対策を徹底しながら、日常生活を送るしかないのではと思う。
- ・濃厚接触者は登園停止で、それは仕方ないと思いました。
- ・園児1人、職員2人が1週間以内に同時感染。でも「濃厚接触者はいない」ということで、休園になりませんでした。本当のいないのか、心配でした。一方で、休園になったら困るとも思いました。
- ・正直、保育園が休園にならなかつたことはありがたかったが、同時に本当に感染リスク等大丈夫なのか複雑な気持ち
- ・濃厚接触者がいなかったため通常保育となり、仕事を休まずに済んでホッとした反面、本当に濃厚接触者がいなかったのか不安であった。
- ・休園しなくても大丈夫なのか、という不安と、保育園が休園しなくて良かった、という安堵と、複雑な心境でした。
- ・働く身としては有り難い。一方で、先生方に不安を感じながら働かざるを得ない人が居ないかは気になった
- ・私自身が感染者となったのですが、「濃厚接触者はいないので、必要な消毒を行い、通常通り保育を行う」

との通知がありました。その際も、クラスや性別など、他の保護者に知らせることなく、私と子どもの人権に配慮くださったと思います。感謝しています。他の保護者には心配をかけたことと思いますが、保育園が私たちのプライバシーを守ってくれているように感じました。その後、子ども（濃厚接触のため2週間自宅待機していた）が登園してからも、特に感染時の話題に触れることなく接してくださるので、他の保護者の方に勘繰られることもありません。”

- ・濃厚接触者はいなかったとの報告があり、希望者はPCR検査も受けられるとの事だったので不安に思いながらも通園を続けた
- ・保育士が感染した時に園児の検査もしてほしかった。職員のみだった。

前問で「その他」と回答した人（「その他」の記述の内容→感想）

- ・休園になったときと、ならなかった時があった→必要最低限の休園にとどめられたと思っている。
- ・休園のときも、休止がないときもあった→園は誠実に対応したと思うが、濃厚接触の有無など保健所の判断には疑問をもつこともあった（職員ならマスク着用→濃厚接触なし等）
- ・職員・保護者に感染者が発生したのが3回だったが、休園になったのは最初の1回だけだった。→職員が感染した際、濃厚接触者は園にいなかったということで休園にはならなかったが、本当に濃厚接触者はいないのか疑問に思った。もし、保育士だった場合、抱っこや遊びも一緒にしているのでマスクをしていても感染リスクは高そうに思える。事務員や栄養士であればまだわかる。
- ・3波までは休園になったが、4波以降は休園やクラスのお休みはない。→働いている保護者が多いので、休園にしない判断は支持する。保護者の判断でコロナ感染予防での自主休園はお休みにならないのも有難い。
- ・1回目（5月）は全面休園、2回目（8月）は該当クラスのみ休園となった。→2回目については全面休園にしなくて大丈夫かなと思った。クラス関係なく、園庭などでは子ども達は一緒になって遊ぶので。
- ・濃厚接触者の調査の間、園が独自に影響を判断して複数のクラスが休園した→結果濃厚接触者はいなかったが、広く捉えて休園して良かった。休園期間が短くなり助かった。
- ・濃厚接触者の特定までは全面休園、その後濃厚接触者以外でどうしても必要な園児は登園可能。→（感想なし）
- ・1週間自粛要請となった（どうしても保育必要な人は預けられる）→適切
- ・登園自粛できる人は自粛。→適切だと思いました。また、その後の情報（濃厚接種者である園児が陰性だった等）もすぐきたので安心できました。
- ・自粛の協力→しょうがない
- ・登園自粛要請→（感想なし）
- ・休日に消毒し、通常通り→通常に対応だと思った。

7 情報提供についての感想（感染発生についての園から保護者への情報提供について、どのような感想を持ちましたか？）

*「おおむねよい」「情報が遅い、見通しが立たない」「情報が少ない」「発生したクラスを教えてほしい」「その他」のグループごとに、前問6で情報提供されたと回答した項目が多い順で掲載。

「おおむねよい」

- ・分かる範囲、個人情報保護の範囲でなるべく詳しく教えてくれたので安心感があった。1回目は保護者も動揺していたのか、個人情報を園に問い合わせたりした方がいたそうで保護者会から控えるよう連絡があった。
 - ・随時報告してくれてありがたかった
 - ・クラス名まで発表されたので驚いたが、感染されたご家庭了承の上の開示だったとのことで安心した。
 - ・保育園の先生方も体調が悪い中必死で対応されており、是非力になりたいと思いました。
 - ・どのクラスから感染者がでたか知れてよかった。個人情報も大事だが、同じクラスからでたのかででないのか、フロアが違うかななどでも任意のPCRをうける等対応がかわるからぜひ公表してほしい。
 - ・必要な情報は提供されていると思う。感染者の情報は伏せているが、園の状況提供が早い(幼稚園アプリのメール)ので不安はない。
 - ・アプリで1次連絡があり、濃厚接触者特定まで迅速だったと思います。個人情報に配慮し、個人は特定されない情報提供でした。
 - ・プリント配布で知らされました。「該当者の人権を守るため、詳しいことは言えない」みたいな書き方で、私は好感を持ちました。人権と書いている所に。一方で、夫はもっと情報を出してほしいと怒っていました。
 - ・状況を知るには充分だと思った。
 - ・ほぼ毎日のように通知があり安心できた。
 - ・クラスは発表しないこと、くれぐれもSNSなどに載せないでくださいの注意書きが毎回あることなど、個人が特定されない配慮が徹底されていて安心できる。
 - ・個人情報に配慮した上で、こちらが安心できるだけの情報は提供された。
 - ・早めの連絡をしてくれて状況こまめに共有してくれた。それよりも早く保健所が対応してほしいと思った。
 - ・PCR検査を受けるに至った経緯、感染判明、濃厚接触者など逐一報告があった。感染した職員に非があるわけではないと思うので個人を特定できるような情報は流さないでいたのが良いと思った。
 - ・検査予定者が出たとの連絡をうけ、一層注意しようと思った
 - ・感染者が特定できるような情報はなく、安心できました。休園期間やその間の対応についても明確に提示されたのでよかったです
 - ・情報は適切だったと思う
 - ・発生後すぐに情報提供があったので、良かった。
 - ・クラス公表もないのは、個人特定をしないため止む無しと思った。
 - ・情報提供はアプリの連絡網や園への掲示で速やかに行われたのでよかった。
 - ・必要十分な情報提供と対応だった
 - ・保健所から濃厚接触者はいないということだったが、濃厚接触にあたりそうだと園が考えた先生・子ども全員にPCR検査を実施すること、そのスケジュールなども明確に提示された
 - ・園からの情報を補足すると、まず2週間の休園見込みであること、濃厚接触者へは個別に連絡が入ることが伝えられた。濃厚接触者への連絡が完了した段階で、濃厚接触者ではない保護者にもその旨の連絡が入った。その後、濃厚接触者の検査結果を踏まえて、早期再開の連絡が入った。保健所からの検査結果がまだ届いていないなどの進捗状況の連絡も随時あった。いずれも一斉メールシステムによる。1度目の休園のあとに保護者会と園とで協議があり、情報提供の方法について確認した。保護者の声を保護者会で集約し、園と保護者との間で協議ができる関係性があることで、保護者は概ね納得していると思われる。
 - ・小学校と全く同じ方法だったので特に違和感はない。
- 必要な情報は出してくれている

・適切だったと思います。開示しすぎると差別に繋がるので、必要な情報のみ知らされることが大切だと思いました。

・クラスや園児が特定されず、けれども、発症時期や接触の有無など、感染リスクを判断するのに必要な情報は提示されたため「ちょうど良い」「必要十分」という感想を持ちました。

・適切

・休園が決まった時点では「陽性者が出たので、〇〇日まで休園します」という連絡のみだった。我が家は濃厚接触者だったので個別に検査に関して連絡があった。時期や発生場所などについては特に情報はないままであり、検査結果が出るまでの1週間は不安もあったが、知るかどうかで検査結果が変わるわけでもないし、個人情報保護の観点からも情報提供としては妥当かなと思った。

・必要な情報は出ていた。

・発生状況の公表もなく、個人情報が守られていると感じ好印象だった。

「情報が遅い、見通しが立たない」

・PCR検査の実施方法や保育再開の基準が不明確だった。

・保健所の疫学調査が遅れ、いつまで休園になるのか分からないので職場への相談が難航した。

・陽性者が出た三週間後に知らされ、不誠実さを感じた。

・感染者が出たと分かたら、その日に教えてほしかったと思う。

・情報提供はあったものの、本当にごく最低限のもので、非常にもどかしかった。具体的には、第5波の感染爆発の中で保健所の業務がひっ迫しており濃厚接触者の認定までに4～5日かかったが、「認定に時間がかかっています」という連絡があったのみで、「現状がどうなっているのか」「どういう条件がそろえば、どんな形で開園するのか」といった連絡がほとんどなかった。保健所業務のひっ迫という保育園側ではどうしようもない事情があったとはいえ、例えば「保健所の濃厚接触者認定を待っていますが、今日も判断が下りなかった」という連絡が1日に1回でもあれば、だいぶ違ったと思う。

・毎翌日の夕方にくるメールで明日どうなるかを知らされたので非常に生活しづらかった

・保健所の濃厚接触の検査が遅く、園も対応に困ってるんだなと思いました。

「情報が少ない」 *●は前問で「情報提供がなかった」と回答した人

・感染者の陽性が判った時期と最後の登園日などを教えてもらえるとよい

・情報が少なすぎると思いましたが、聞いたところで何も変わらないのも理解できるので、納得するしかないと思った。

・不明点が多く信用度が下がった

・個人情報の問題から聞きたくても聞けない部分はもどかしかった

・職員がいつ症状が出たか、いつ出勤していたか、などの情報が全くなかったのもっと詳しく知りたかったです。

・仕事の都合上、近い人が感染者だったとしても、我が家は休園にならない限り、登園させざるを得ない状況だったが、近い人が感染者だったのならば、登園自粛する、という家庭もあるかもしれないので、我が子に近い人なのか否かは気になる。ただ、それによってほぼ感染者が分かってしまうかもしれないので、難しいところ。

・個人情報に留意しつつ、濃厚接触定義ではなく感染リスクのあった可能性のある児童にはもうすこし情報が

欲しいと思った。

・濃厚接触者がいなかったとの事で感染者情報はほとんどなく、その情報を信じて通園させたが不安にはなかった。仕事を休めるなら自主的に休みたかった

・プライバシーの観点でほとんど情報をもらえず、リスクも判断できないので仕方なく登園を続けた。

どのクラスの園児か、直近1週間登園実績はあるのか、いつどうやって発覚したのかなど、プライバシーを侵害しない範囲での情報は提供いただけた方が、全体としては効果的だと思う。

・園に通っている娘が濃厚接触者になった。その連絡は個別の電話だったので、他にいるかなどは分からなかった。一部の親同士で連絡したところ、娘のクラス全員が濃厚接触者だった。全員陰性だったので、待機期間などは励まし合えたが、中には自分の子だけ濃厚接触者になったかと思っていた親御さんもいて、不安は強かったみたいである。結果として陰性で、良かったから言えることかもしれないが、休園でしんどい時に、同じ状況の他の子のことを知らないのは、ストレスになるかもしれない。

・園からというよりは、区立認可保育園なので、区の保育課長からの案内のお知らせが来ましたので、保育園からの説明は、これに沿った形での説明で、それ以上もそれ以下もなく、形式的なものでした。個人情報の観点から発生クラス、濃厚接触者の有無、などの情報は開示されませんでした。保育園が通常通り運営されることを知り、そこから濃厚接触者が居ないであろうことや、職員のPCR結果なども問題ないであろうこと、など推測して状況判断するしかないなということが、不満に思いました。”

・当初、園が感染が発生したクラスを明確に通知せず、自身の子のクラスは違いますとだけ言われていたため、すごく不安でした。

・不足 ●

・情報があまりにも少なく、どうすればいいのか、例えば、他の一時預かりの利用検討などの判断基準になるものは、一切情報がなく、当方から問い合わせするしかなかった。 ●

・説明が足りない。 ●

・感染者が職員なのか園児なのか保護者なのかといった情報もなく、濃厚接触者と判断された人にも個別に連絡があったようだが、自分の子は大丈夫かという不安が残った。 ●

・発生後の情報提供がほぼなく、登園再開の連絡を待つのみでした。園からの連絡を待つ他ない点は不満がありました。 ●

・特に何も情報提供はなかった（当該保護者から直接聞いた）ので、感染の発生を隠したかったのかなと思った。

「発生したクラスを教えてください」 *●は前問で「情報提供がなかった」と回答した人

・感染者が出たクラスは伝えてほしかった。不安。

・幼児か乳児クラスか公式に教えて欲しかった

・発生したクラスは早めに教えて欲しい。ちょうど子どもが風邪をひいているときに、検査を受けるべきかの判断に迷う

・クラス名を知りたかった。

・自分の子供のクラスで感染者が出たのかは教えてほしかった。保育料の返還については園から連絡はなく急に自治体から休園分が返還されたのも驚いた。PCR検査についても検査の時間と場所のみの連絡で持ち物の連絡もなかったのが不安があった。

・発生クラスが知らされず不安

- ・発生したクラスは教えてほしい
- ・園児感染時はクラス公表するのに、職員感染時は担当クラスを公表してくれず、不安しかない。
- ・フロアぐらい知りたかった
- ・クラスは教えて欲しかった
- ・感染発生の時期やクラスは知らされず、PCR 検査も保健所の判断で職員・園児誰も実施しないことが決定された。この様な対応では無症状で他の家族や地域社会に感染を拡大する可能性が高いと感じた。 ●

「その他」

- ・クラス名が市長名で掲載されていたことに驚いた。人数の少ないクラスだから、ある程度特定できるのでは？と疑問を抱いた。
- ・決まりだから、仕方ないよなあ
- ・感染者に対する非難が起きないように最大限配慮しているのを感じました。そのために欲しい情報が入りづらいのを感じました。
- ・感染者の情報は非公表（職員か園児かもわからない）だったので、濃厚接触者が判明するまではかなり緊張の日々でした。
- ・メールだったので詳細はよくわかりませんでした。
- ・特に何も思わない。 ●
- ・国から国民への指示も曖昧だから仕方がない…という諦観。 ●
- ・仕方がないと思うし、それ以上聞いてもしょうがないと思う。 ●

9 園の対策や保育方法の変化についての感想（前問のような対策、コロナ禍のもとでの保育方法の変化などについて、どのように感じていますか）

- ・コロナが流行している現状からすれば当然のことだと思う。
- ・新型コロナによる子どもの重症化はほとんど稀なのにもかかわらず、マスクの着用や食事での会話を減らすように言われるなど過剰な対応だと感じる。感染対策によるベネフィットと対策が子どもの成長に与えるリスクを冷静に比較し対策を緩めるべきだと思う。
- ・登園基準が厳しくなり、担任の先生との軋轢が増えた（こちらは行かせたい、あちらは休んでほしい、というジレンマのため）。
- ・保育士の負担が増えて大変そう。ちゃんと手当は払われているのか心配。
- ・家庭や子どもに負担とならない程度に対策されており、良いと思う。
- ・降園時の玄関お迎え、保護者参加行事の削減、保護者懇談会の相次ぐ延期で保育士と話す機会が減り、子どもの様子が分かりにくくなった。
- ・先生の人数的関係か異年齢が一緒に部屋で過ごすことがあるので、感染防止の対策としては好ましくないと感じています。
- ・やむをえないと思うが、以前より園の中のことが分かりにくく不安を感じている。
- ・保護者と保育士、保護者同士の関係が作りにくい。雑談ができない。先生方の苦勞もわかるし、感染リスクと保育方法とのバランスが保護者としても悩ましい。新しく入った保護者や先生たちがどういう気持ちで過ごしているかは心配している。子どもたちは元気に保育園で過ごせているので、保護者としても気持ち的にや

っていている。

・先生方は出来る範囲で努力されているので感謝している。ただ感染防止は限界があるのと現在私（母親）が妊娠中の為、自主的に休園している。正解がないので双方ストレスが大きいと思う。

・個人的には子どもの重症化率やらなんやら調べた上で通常の保育で問題ないと思っています。マスクなどつけることのデメリットが大きいのでコロナよりそちらの方が不安です。

・夏は体温だけで返されるのがつらい

・保育者には十分に対策頂いている。大きな問題はないと思う。

・先生方の負担が多そうに思った。おもちゃの消毒などかなり手間をかけて作業されているのを見た。かなり痩せてしまった先生が何人かいる。こどもはうがい完璧に身につけており、先生方の指導のおかげだと感じる。先生の負担がとても重そうなのが気になる。増えた負担分、待遇を良くしてあげて欲しい。

・行事や保護者との面談などの機会が減り、子どもの成長に関して、園と協力するという機会が無くなっていると感じる。

・子供の成長等もありやりすぎはよくないかと。充分。

・コロナ禍で転園をしたが、前の園は隠蔽体質で情報も共有してくれなかったが、こちらの園はかなりの情報を共有してくれている。わかっていること、わかっていないこと、今の時点でいえること、言えないこと、言えないことでもどういう状況でいつならばいえるのかということをも明確に伝えてくれる。保育方法も、部屋を分けて密を避けるようにするなど、非常に細かく考えてくれている。行事を減らさざるを得なくても、それは致し方がないと思う。子どもたちだけで（これまでは親も入れた）行事をやるということに変わっている。コロナ禍でも、場所を変えて遠足をするなどの工夫もしてくれている。

・保育者がマスクをしていて、園児たちが表情を見れないことに懸念している

・仕方ないと思っています。

・慣れてきたこともあるが、しっかり対策してくれていると思う。保育所の職員の徹底した対応に頭が下がる。乳幼児がマスクができないため、これが限界なのだと思う。

・幼児にマスクを強制することが難しく感染リスクが高い一方で、保育士さんはワクチンを優先的に打てず、重めのコロナの症状出た先生がいらっしゃいました。エッセンシャルワーカーとして保育士さんが優先的にワクチン接種ができると良かったと思います。

・保育士さんは子供を育てるといって、大変且つ非常に重要なお仕事であるにも関わらず、待遇を含め軽く見られすぎだと感じます。

・しっかりと対策されてると思います。

・先生方への負担増が心配。子どもも、過剰に対処することでストレスが掛かるのが懸念。

・行事が制限される中、先生方は色々考えてくださっている。コロナ前でも子どもの安全等に配慮いただいていたが、プラスでコロナ対策をしてくださって頭が上がらない。

・東京都墨田区は感染者が発生した場合には保育園名がホームページに開示されており情報が公明正大で安心できる。区の方針で保育園は休園を行わないため、登園自粛の要請もなく、保育園には今まで通り預けて良いことになっている。保育士の先生達はコロナ禍の出勤は大変だと思う。黙食や行事の中止や縮小になったが父母会の活動も含め最低限の保育環境で十分楽しめる園庭やホールでの遊びをたくさん展開してくださるので、無駄がなくなり、むしろスリム運営で十分だと思う。

・異学年の他のクラスとの交流が一部制限されており、情操教育の面でも、少々残念である。また行事も（小学校の体育館が借りれないため）縮小になっていて、特に年長さんなどは不憫を感じる。

- ・子どもの育ちにどのような影響があるのか…未知です
- ・リスクを選択するための情報開示と感染後の対応についてもっとわかりやすく掲示すべき
- ・中の様子が見えなくて不安もある
- ・子供の様子や教室を見ることができず、普段どのような遊びをしているのかも分からない
- ・科学的でない感染対策がみられることに、疑問を感じている(マスクなしで過ごしている低年齢の場合、食事のときにアクリル板を使ったり黙食を指導したりしてもあまり意味ない、とか)
- ・園児がマスクをしないため、先生に申し訳ないと思う。子から親へと考えると、登園を迷うこともある
未就学児ということもあり、子ども達自身が実施する感染対策としては限界があると思います。一方で、保育者の心理的負担や除菌行為（菌ではありませんが）などの負担増を心配しています。
- ・最大限、今できる限りの範囲で子どもにとって良い経験をさせたいという保育園の想いが伝わるため、協力したいと感じる。
- ・最大限工夫をしていただいているとは思いますが、園児はほぼ全員マスクなしなので園児が感染した場合、他の人にうつってしまうのはどうしようもなさそう。
- ・本当は出来るだけ教室を分けて密にならないように保育してほしいが、アクリル板やマスクの対応はしっかりしていると感じる。
- ・園の関係者に感染者が出たら、希望者がPCR検査を受けられるなどの対策があると良いと思う。
- ・風邪症状など体調不良の場合は分けて保育を行う必要がある
- ・試行錯誤されながら努力されていると感じる。
- ・仕方がないと思う
- ・保育園の中に入れないから様子がわからない
- ・どのような対策がされているのかわからないため、手間ですがプリントで知らせてもらいたい
- ・仕方ない
- ・子どもも保育士もかわいそう。定期的に誰でもいつでも無料で検査するシステムにすればいいだけのことなのに、無駄な自粛をしている気がする。
- ・対策をした上でクオリティの落ちない保育を実践頂いている
- ・保護者が誰も園内に入れないので、感染対策という意味で安心である一方、保育の状況がわかりづらくなった。先生や他の保護者とも話す機会がほとんどなくなってしまったのは残念。
- ・降園時におもちゃの消毒やドアノブや低い箇所の消毒などをおこなうなど、通常の保育にプラスの負荷をかけてできることを精一杯おこなってくださっている印象があり、先生方には感謝しています。
- ・誕生会や体育あそびなどの行事がなくなり、今しかない保育園時代の、こどもの経験が減ってしまうことが心配です。一方で、園児が減ると手厚い保育が可能となると思うので、登園児にとっては有意義な時間となっていると想像されます。これを機に保育の配置基準の改善が進むことを心から願います。
- ・妥当だ
- ・コロナ対策のしおりみたいなものがあってもいいかもしれないです(濃厚接触者の時はPCR検査キットは園でいくつか購入されているのでしょうか)。また職員の方々のワクチン接種はどうなっていますか。
- ・手洗い、消毒の徹底はいいと思いますが行事の縮小は仕方ない反面やはり寂しく感じます。しかし、それを埋めようとしてくださる先生方には感謝しかありません。
- ・いいとおもう
- ・対策はすべきことなので行事が減ることは仕方ないと思う

- ・できる範囲で一生懸命対策していただいてありがたい。
- ・仕方のないことだが、限られた行事が中止されていくのは残念。
- ・良いと思う
- ・寝冷えにより鼻水が出ていただけで熱がなくても預けられず、以前なら預けられたのに困ってしまいました
- ・テレワーク中でも仕事にならないが、頑張って自宅保育を継続しているが、殆ど自粛をしている家庭はないときいたこともあり、やりきれない思いである。様々な事情で登園自粛できない家庭があるとしても、せめて協力している家庭にインセンティブ(保育料返還など)がないと、預けたもの勝ちになっている。
- ・子供達の行事が減り、大変残念
- ・ごはんのときに話ながら食べれないのはかわいそうに感じるからできるだけパネル越しとかで会話しながら食べるとか距離をとりながら食べるとかで対応し、できるだけ楽しいごはん時間が過ごせればいいなと思う。また運動会は年長のみとかに限定されたりしているが、年少くらいからは楽しみにしている子が多いだろうから時期をずらしてでも、学年で分けてやるなど対応できればいいなと思う。小学校の園庭や体育館などは貸していただいたりして、広い場所で行えるようにしたらよいかと思った。
- ・保育参観もなくなったため、かわりにデータ写真や動画配信など、積極的にデジタル化を取り入れて保護者に提供してもらえたらと思う。”
- ・子供たちの行事などが減ったのは寂しいが制約がある中でもできることをしてもらってとても感謝している。
- ・こども、職員の安全を第一に保育を行っていただくのが一番。その上で出来ることを色々考えてしていただきありがたいです
- ・今まで通りにできないことが多いが、その中でも模索しながら保育を進めてくれている。
- ・咳をしている子を預けている保護者もいて保護者の意識に差がある。
- ・緊急事態宣言などに合わせて、送迎時の方法を都度変えたりしていて、園でも試行錯誤しているように感じます。イベントや送迎などの方法を変えたり工夫に感謝していますが、一方で日常の保育の中で接触や食事の時のコロナ対応が、保育士と子ども達にどう影響があるのか気になります。保育の質の変化の部分。保育士が余裕をもって対応くださっているとよいなと思ったり、一定気をつけることの間で大変だろうと思うばかりです。何もできませんが、。
- ・行事はもともとやり過ぎだったので、減らした方がいい。
- ・コロナだけでなく、他の感染者対策にも有効なので、良いと思う。行事の縮小は残念だが、工夫して、やれるだけのことをやってくれており、感謝している。
- ・昨年よりも対策が緩和されています。去年は蜜を避けるために、お弁当ケースに入れられた給食であったりしたのですが、今の対策は幼児クラスは常時マスク着用、手指アルコール、程度です。よって、コロナ対策による保育への大きな影響は、ほぼ無いと感じます。保育に対しては非常に信頼感がありますが、コロナ対策という面で考えると、多少不安な部分があります。
- ・送り迎えの際に、保育士と保護者との会話は必要最低限にするように園から言われている。年度初めの面談も希望者のみだったので遠慮したが、2021年4月に担任が変わって以来、その担任と子供の様子やちょっとした気がかりを話すチャンスがなく、以前は毎日のコミュニケーションで構築されていた(別の担任と築いていたような)信頼関係が弱いと感じる。したがって、日々の保育にふと疑問を感じるが増えた。例えば、天気が良かったのに外遊びをしなかったのはなぜだろうとか、昼寝をしなさいと怒られるから行きたくないと子供が言うけどあの先生はどのくらいの強さで言いそうなのかかわからないとか、本当に小さなことだが、

コミュニケーション不足を感じる。また、子供たちはマスクを付けているが、園の玄関に落としたものをそのまま着用していたり、鼻が出ていたり、苦しいとすぐ外したりするので、付けないよりはいいかもしれないがモヤモヤする。

・先生方が消毒や行事の行い方を色々と考えてくれている中、保護者同士では愚痴が増えていて保護者対先生が増えているようにも感じる。

・子供相手によくやっているなど感じます。一方で、コロナが理由か分かりませんが時々保育士さんが少ない時があり、人員の補充が間に合っていない様子があります。

・現場でできる限りのことをしてくれていると思う

・仕方のないことなので出来るだけ協力したい

・施設での感染予防策を進めるのは妥当と考えています

・対策がとられている

・二年間行事がなくなり、このまま卒園してしまいそうで悲しい。

・保育者がマスクの影響で乳幼児の言葉が遅れるという説があるということから透明マスクを導入して下さったり、最初の緊急事態宣言中は自粛のための動画配信を始めて下さったり、柔軟な対応がありがたい。ただ保護者会は少人数×短時間になってしまい、入園以来他の保護者との交流があまりできていないので、できれば早めにオンライン開催を導入して欲しいと思う。

・仕方ないことだと思う。

・子どもへの感染拡大が起きている中、仕方ないと思います

・園での子どもの様子がわからない

・行事がほぼ無くなってしまい、寂しさはある。

・日頃の感染対策は素人目に見ても意味のないものばかりなのに、運動会や発表会、遠足については感染しにくい環境はいくらでも作れる筈なのに延期や自粛の徹底をしている。コロナをいい事に楽をしているとしか思えない。

・妥協点を見つけながら調整してくれているので有り難い

・コロナ禍に入ってから入園なので、コロナ前を知らず、よくわかりません。ただ、行事に参加出来ないのは寂しさを感じます。入園式も参加できませんでした。

・先生方の負担が多くなってしまい、心配

・ただでさえ小規模保育所で外遊びが少ないところ、今はほぼないので、登園から帰るまで毎日ずっと室内にいるのが気になる。

・行事が中止になり残念に思う

・もっと対応や基準を明確に公表し、徹底して欲しい。

・楽しみにしていた行事が縮小、中止になって残念だが、園は大変な中、できるだけ通常に近い保育ができるよう工夫して頑張ってくれている。

・子供相手なので仕方がないが、マスクの徹底などはなかなか出来ていない。また、職員の方がウレタン製マスクをしていることがあるなど、最新の情報での行動変容などがあまり無い

・難しい、仕事をしないといけない家庭にはどんな対策がいいのか…休暇の度に旅行や外出する家庭との意識の差が顕著でしんどい。

・プールや運動会等の行事が中止になるのは残念だが、園での様子を動画配信したり、保護者会などもオンライン開催に変更したりコロナによって柔軟に対応してくれており保護者も助かっている面もある。

- ・ 疲れる
- ・ 対策が早かったので安心感があつた
- ・ 保育士の日々の対応が本当に大変だと思います。感謝しかないです。必要な時に頼れる保育園を守るために可能な範囲で休める日は登園自粛するなど保護者も協力が必要と思っています。
- ・ 行事が減らされ悲しい。仕方のないことだが園の方針に委ねられているので園ごとに異なっていて隣の芝生は青く見える。
- ・ 仕方ないけど、食事方法や行事の縮小が寂しい
- ・ コロナ渦になってからの保育園生活スタートだったので以前と比べることはできない
- ・ とにかく今までと同じ行事を無理矢理にでもこなそうとしていた。親が出入りする時間帯の感染対策は徹底されているが、保育時間中はホールでマスク無しで2クラス集めて運動会の練習、見せ合い。お泊まり保育の開催にこだわったり、コロナ禍ではあるが、かといって行事に関する変化をしようとする事はなく。とにかく緊急事態宣言が消えればいつも通りの全ての行事を今まで通りにやろうとする事を保護者が強く反対して考え直してもらい繰り返しなので、保育園は子供の成長に対する固定観念が強くなり世間からずれた感覚で動いている印象。
- ・ とくになし
- ・ 現在育休中の我が家は短時間保育を要請されていて、普段より早めにお迎えにいきますが、果たしてそれがどのように効果的なのかは分かりません。先生の負担がこれ以上増えないようにという気持ちだけで要請に応じています。
- ・ 出来るだけのことをしてもらっているので、この状態で感染が起きたとしても仕方のない事だと納得できる。色々制限のある中で生活を工夫して預かってくれていてありがたいです
- ・ コロナ禍前がわからないため回答できません。
- ・ 今のところ、保護者の負担増もなく、対策に安心感を得ている
- ・ 行事が無いのでは非常に残念だが、現状では致し方無い
- ・ 日頃の保育を見る機会や先生や他の保護者と話す機会は減りがちであると思う。感染防止の精神的・時間的負担が保育者が仕事をする上で大きなストレスになっていないか、心配。
- ・ コロナ渦のもと、おもちゃ消毒や日頃の外出を控える先生がいらっしゃるの、保育現場の負担がかかっているが、国や自治体からの特別なサポートはない感じがしている。例えばシンガポールでは9月から学校の教師や学生、家庭に検査キットを無料配布する予定だが、この様なサポートが日本でも必要になるのではないのかと感じる。
- ・ 園児や親が自粛中、ケアなどが無いので風邪症状がどこからなのかもわからない不安ばかり。

10 今後への不安：「その他」に書かれた記述内容

- ・ 自主的に休んでいる子がいて、つまらないと息子がいうことがある。
- ・ 一時預かりへの出費が増える。
- ・ 保育の代替がないかもしれない
- ・ 片方の親しかテレワークできないので自宅にいるとテレビ漬けか、生活リズムをあえて崩させて昼まで寝かせておくかしか安全を確保するしかないことへの不安。
- ・ 子どもの生活リズムが安定しないこと、社会的な繋がり希薄さによる心身の成長への影響を心配している

す。

- ・社会全体は動いている中で、子育てのために仕事ができない状況が強まるので、焦燥感がこれまでよりも強く出てきているように感じている。
- ・仕事も育児も中途半端になることや、多分どうしても動画やテレビを見せる時間が増えてしまうので、その健康への影響や自分の罪悪感。
- ・保護者が体調不良になる可能性。
- ・第1波のときは、突然保育園が休園になり、家庭での保育と仕事の両立に無理を感じた。親・子どもともにイライラしてしまい、このままでは精神的に悪影響があると感じた。今後、同様の状態になったら、有休を使ってなるべく家庭での仕事をセーブするように考えると思う。
- ・再開時に過度な感染対策を講じて、子どもたちに不利益が生じること。(例えばマスク着用義務など)
- ・仕事を辞めたくなくなっています。
- ・自宅保育をしながら在宅ワークは1日が限界。それ以上は子どもの成長に悪影響があり、親のストレスも大きい。
- ・自分の家庭でもコロナに感染するかもしれない。
- ・もちろん仕事面は大変だが、子どもの安全よりも休園しないことを優先させるべきという風潮にならないことを願う。
- ・先生方には大変良くしてもらってます。仕事と両立できているのは先生達のおかげです。
- ・コロナで自主休園する際は退園の対象にしないでいただければ何の問題もありません。
- ・自粛要請を出していただいた方が仕事が明確に休みやすく、内閣府のベビーシッターサービスも自粛要請が出た方がサービスを受けられるため、無理に開園しなくても良いと考えている
- ・むしろ休園してほしい。無理に開いて感染拡大させないでほしい。
- ・幸い、協力してくれる家族がいるので特にありません。
- ・特になし。

(終)